

国語の鍛錬

レベル

5の7

『会話文の練習』

1. 次の会話文が誰の発言なのか、あとの□から選び()に書きましょう。
引用した作品は問題作成のため一部表記を変えています

①『坊ちゃん』夏目漱石より

おれはバッタの一つを生徒に見せて

() 「バッタたこれだ、大きなずう体をして、バッタを知らないた、何の事だ」と云うと、一番左の方に居た顔の丸い奴が

() 「そりゃ、イナゴぞな、もし」と生意気におれをやり込めた。

() 「べらぼうめ、イナゴもバッタも同じもんだ。第一先生を捕らまえてなもした何だ。菜飯は田楽でんがくの時より外に食うもんじゃない」

とあべこべにやり込めてやったら

() 「なもしと菜飯とは違うぞな、もし」と云った。いつまで行ってもなもしを使う奴だ。

() 「イナゴでもバッタでも、何でおれの床の中へ入れたんだ。おれがいつ、バッタを入れてくれと頼たのんだ」

() 「誰も入れやせんがな」

() 「入れないものが、どうして床の中にいるんだ」

() 「イナゴはぬくい所が好きじゃけれ、おおかた一人でおはいりになったのじゃあろ」

() 「馬鹿あいえ。バッタが一人でおはいりになるなんて——バッタにおはいりになられてたまるもんか。——さあなぜこんないたずらをしたか、いえ」

() 「いえてて、入れんものを説明しようがないがな」

おれ 生徒